

学校だより

東泉丘

令和5年(2023年)冬休み号
全児童数 622人(12/1現在)
豊中市立 東泉丘 小学校
校長 河上 洋介



3学期に向けて

保護者の皆様のご理解、ご協力のおかげをもちまして、2学期の教育活動を無事に終えることができました。この2学期は学級休業をすることが非常に多く、お子様が学級休業中は、お子様の体調管理をはじめ、生活のこと、お昼ご飯の準備、オンライン学習をした場合にはお子様のタブレット操作の補助等、保護者の皆様に助けをいただいていたことが大変多かったと思います。ありがとうございました。また、学級休業に伴って、わかたけ音楽会につきましては、5年生は延期、1年生は中止となり、楽しみにご予約いただいていた保護者の皆様に大変ご迷惑をおかけいたしました。他にも、楽しみにしていた地域行事への参加やご家族でのお出かけ等をあきらめることもあったと思います。インフルエンザにつきましては、この2学期はA型が流行していましたが、早くもB型が出始めているとの報道もあり、これからも注意が必要と思います。ご家庭での手洗いやうがい、食事や睡眠といった基本的な生活習慣について十分にご留意いただき、冬休みをご家族で楽しくお過ごしください。

さて、本校では、今年度よりめざす子ども像を「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い(愛)」としています。1学期には、「伝え合い」について、「気持ちのよいあいさつ」「思いやりのある言葉」を大切にしてほしいと子どもたちに話しました。2学期の始業式では、2学期は「認め合い」について特に考えてほしいと伝えました。そして、友達のいいところやがんばっているところを「見つける」ことや、友達のことをたくさん「知る」ことが、「認め合い」につながっていくと話しました。大人でも、人の欠点には気がつきやすいです。そして、欠点をあげつらったり、欠点を理由にして相手を嫌ったり、憎んだり、攻撃したりしてしまうこともあるでしょう。それがいじめにつながることもあります。でも、子ども達には、友達を一つの見方で決めつけてしまうのではなく、様々な角度から見て、友達のことをよく知ってほしいと思っています。ご家庭でも、もし、お子様が「あいつ〇〇やから嫌いやねん。」等と言った時には、「そうかー。でも、その子には、別の面もあるんじゃないかな。」等と、お子様の見方を広げてあげてください。

冬休みが明けると3学期です。3学期は、まとめの学期であるとともに、来年度への準備の学期です。「わくわく」や「ドキドキ」を感じながら進級、進学するための準備を、しっかりとしてほしいと思っています。保護者の皆様には、本校の目指す子ども像を実現するために、お子様の食事や睡眠といった基本的な生活習慣に配慮いただくこと、お子様を認め励ましていただくことの2点について、引き続きご配慮くださいますようお願いいたします。冬休み中は生活習慣が乱れがちになります。ご家庭でお子様と時間の使い方について話し合い、宿題をする時間や本を読む時間を決める等して、お子様が規則正しい生活を送れるようご配慮ください。

交通安全教室について

12月11日（月）に、2年生から6年生までの子どもたちを対象に、体育館で交通安全教室を実施しました。DVDを視聴したり、警察の方のお話を聞いたりしながら、交通安全について学びました。4、5、6年生には、自転車点検のお話もありました。冬休みを迎えるにあたって、交通安全について改めてご家庭でもお話をしてください。

校内教科研修会について

11月22日（水）の放課後に、校内教科研修会を行いました。研究授業を行う予定だった6年1組が学級休業中だったため、子どもたちの代わりに先生たちが子ども役となり、模擬授業を行いました。授業は、比例の関係について学ぶ内容でした。学校日より11月号で全国学力・学習状況調査の結果についてお伝えした時にも書いたとおり、比例の関係は、苦手とする子どもが多い内容です。授業は、まず、実際に丸い水槽に水を入れていき、入れた水のかさと水面までの高さを表にして、かさと高さの関係が比例の関係になるのかを確かめるところから始まりました。次に、表の中の？に入る数を求めました。子ども役の先生たちがどんな求め方を使ったのかを発表し、みんなで確かめていく中で、表の中に次々に矢印等が書き込まれていきます。

かさ (ℓ)	1	2	3	4	...	8
高さ (cm)	2	4	6	8	...	?

Diagram illustrating the relationship between water volume (かさ) and height (高さ). The table shows a sequence of values: 1ℓ corresponds to 2cm, 2ℓ to 4cm, 3ℓ to 6cm, 4ℓ to 8cm, and 8ℓ to an unknown height (?). Arrows and labels indicate the operations used to find the unknown: from 4ℓ to 8ℓ, the volume is multiplied by 2 (×2); from 8cm to the unknown height, the height is multiplied by 2 (×2). From 1ℓ to 2ℓ, the volume is multiplied by 2 (×2); from 2cm to 4cm, the height is multiplied by 2 (×2). From 2ℓ to 3ℓ, the volume is increased by 1 (＋1); from 4cm to 6cm, the height is increased by 2 (＋2).

そして、水のかさを x 、高さを y として、 $y = 2x$ という式を使う求め方が出てきました。いよいよ授業の核心です。この式の中の2の正体を明らかにしよう、と授業者から今日の課題が伝えられ、子ども役の先生たちは、式の中の2が、表に書き込まれたどの2のことを言っているのかを考え始めました。

模擬授業の後に研究会を持ちました。講師として招いた豊中市教育委員会の内田淳也指導主事から、授業者が正解を言わずに「〇〇さんが説明してくれたことをもう一度説明してくれますか。」「〇〇さんの意見に続けてくれますか。」「本当ですか。」「どうしてですか。」「〇〇さんの気持ちが分かりますか。」「意味が分かる人はいますか。」等と次々に児童に問いかけていくことで、児童の考える場面が多い授業だったと講評をいただきました。

本校の目指す学校像 「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像 「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い (愛)」